

令和 8 年 6 月 1 日

令和 7 年度

土浦エコパートナー事業実績報告書

(報告先) 土浦市長
安藤 真理子 様

名 称 株式会社ジョイフル本田
所在地 土浦市富士崎一丁目 16 番 2 号

具体的な取組事項

項 目	具 体 的 内 容
省エネや地球温暖化対策活動	・ 不用時の照明消灯 照明の不要時消灯は継続して実施。 店内各所の基準照度を 1000 ルクスに設定し、明るすぎる場所の照度を調整。 ・ 空調温度を天候や気温にあわせて調節 継続実施 ・ 省エネ、エコにつながる商品紹介を推進 リフォーム事業部では国策の住宅省エネキャンペーンに該当する 3 つの補助事業（子育てグリーン、給湯器省エネ、窓リノベ）を推進し省エネリフォームの訴求に努めた。 申請実績：180 件
公害や汚染の防止，ゴミの削減，リサイクルの推進	・ 不要な土の回収、再生 年間約 500 袋 1 袋 20 リットル換算 年間約 10,000 リットル回収 ・ オフィスのペーパーレスの推進 契約書の電子化と PDF 保存を標準化 社内回覧物は社内コミュニケーションツールで PDF 閲覧 ・ 分別収集の強化 ビニール類の回収を強化。新たに廃プラスチック類（ビニール等）の適正排出に向け、新規中間処分業者（産廃処理委託契約）の締結が完了。新たな中間処分業者の起用により、リサイクル資源（RPF、Refuse Paper & Plastic Fuel、固形燃料）としての活用の推進を図る。 ＜回収実績＞ 25.4～26.3 期で 3,480kg（コンテナ 11 台分） ・ リサイクルステーションの活用推奨 回収実績、利用者数ともに増加 ＜年間回収実績＞ 前年 24.4～25.3 期 本年 25.4～26.3 期での比較 ペットボトル：332,746 本 → 343,355 本 103.19% アルミ缶：213,276 本 → 213,400 本 100.06%

	古 紙：56,371 kg → 54,804 kg 97.22% 利用者数：36,083 人 → 36,127 人 101.12% ※利用者数はペットボトル・アルミ缶・古紙で重複あり ・家電リサイクル、小型家電、消火器、車バッテリー等の回収啓発 小型家電回収 BOX を家電売場から生活館入口付近のサービスカウンターへ移動し、回収 BOX の認知を図った。 ・木くずリサイクルの推進 木くずコンテナ 0.3 t を 18 回 約 5.4 t を回収 ・衣料品類のリサイクルの推進 衣料品類リサイクル BOX (エコミット) 設置日 24 年 7 月 22 日 設置場所 ホームセンター生活館トイレ&授乳室隣 回収実績 25 年 4 月～26 年 3 月 衣類 3,463 kg 雑貨類 291 kg ・『廃食用油回収 BOX』の設置。回収した油をバイオディーゼル燃料にリサイクル、 土浦市の予定に沿って定期回収を実施 令和 7 年度実績 約 400L ※土浦市役所に確認
地域社会の環境保全のための 取組 (例：ゴミ拾い、敷地内緑 化、景観の保護、里山の保 全)	・財団法人 霞ヶ浦水質浄化推進振興財団への協力継続 ・町内清掃行事等への参加 (荒川沖店周辺) 5/25(日)と 6/1(日)に分かれて実施し 30 名が参加 当社従業員 ホームセンター 14 名 リフォーム 10 名 アスレチック従業員 2 名 テナント従業員 ジャパンミート 2 名 AU 2 名 (富士崎本社周辺) 3/1 (日) 町内一斉清掃に本社から 5 名が参加 ・霞ヶ浦清掃大作戦への参加 2025 年 8 月 3 日 第 104 回大会 当社従業員 17 名 

	2026 年 3 月 1 日 第 105 回大会 当社従業員 8 名、GOLD JIM 1 名 参加 																
社員への環境教育や啓発活動の実施	・ ゴミの分別、減量化および店舗周辺美化の意識教育 回収場所に POP を貼付しリサイクルできる木材、ビニールなどの周知をおこなった。また、社内案内ツールにてリサイクルできるものの回収場所を定期的に案内した。																
その他（アピール事項など）	・ GX（グリーン・トランスフォーメーション）の取り組み ＜太陽光発電設備の状況＞ ペッツクローバー棟屋根（新設） パネル容量：199kW 発電量実績：23,000kWh（2025/11/26～2026/3/31） CO2 換算：10.4t-CO2 ホームセンター棟屋根（既存） パネル容量：344kW 発電量実績：358,000kWh（2025/4/1～2026/3/31） CO2 換算：161.8 t-CO2 J2・ジャパンミート・屋内駐車場棟（既存） パネル容量：333kW 発電量実績：341,000kWh（2025/4/1～2026/3/31） CO2 換算：154.1 t-CO2 ・ 社用車をハイブリッド車へ更新 乗用車タイプのガソリン・ディーゼル車をリース契約終了順にハイブリッド車への更新をすすめた。本社と荒川沖の 84%を HV 化 <table><tr><td></td><td>2025 年 4 月</td><td></td><td>2026 年 3 月</td></tr><tr><td>非 HV 車</td><td>46 台</td><td>→</td><td>22 台</td></tr><tr><td>HV 車</td><td>68 台</td><td>→</td><td>115 台</td></tr><tr><td>《HV 率》</td><td>60%</td><td>→</td><td>84%</td></tr></table> ガソリン使用量を前期比 20 キロリットル削減		2025 年 4 月		2026 年 3 月	非 HV 車	46 台	→	22 台	HV 車	68 台	→	115 台	《HV 率》	60%	→	84%
	2025 年 4 月		2026 年 3 月														
非 HV 車	46 台	→	22 台														
HV 車	68 台	→	115 台														
《HV 率》	60%	→	84%														

(実績報告書)

※取組の写真等があれば添付をしてください。

※環境報告書または CSR 報告書があれば添付をしてください。

・ GHG (CO2) 排出量の推移

	年度	2021	2022	2023	2024	2025
事業所		R3	R4	R5	R6	R7
荒川沖店	CO2排出量 (t /CO2)	1489	1683	1384	1412	1345
	2013年度比	-8.0%	4.0%	-14.5%	-12.8%	-16.9%
	前年比	27.9%	13.0%	-17.8%	2.0%	-4.7%
	延床面積 (㎡)	31,759	31,581	31,581	30,514	32,533
	排出量原単位 (t /㎡)	0.046884	0.053292	0.043824	0.046274	0.041343
	2013年度比	-23.1%	-12.6%	-28.1%	-24.1%	-32.2%
	前年比	27.9%	13.7%	-17.8%	5.6%	-10.7%
本社	CO2排出量 (t /CO2)	137	120	93	102	80
	2013年度比	-28.4%	-37.3%	-51.4%	-46.7%	-58.2%
	前年比	19.1%	-12.4%	-22.5%	9.7%	-21.6%
	延床面積 (㎡)	2,822	2,822	2,822	2,822	2,822
	排出量原単位 (t /㎡)	0.048547	0.042523	0.032955	0.036145	0.028349
	2013年度比	-33.5%	-41.7%	-54.9%	-50.5%	-61.2%
	前年比	19.1%	-12.4%	-22.5%	9.7%	-21.6%

※温対法準拠データのため構外使用を主とする社用車燃料（ガソリン）は除外

< 荒川沖店 >

旧ペットセンターを新ペットクローバーへの建て替えで空調に GHP を採用したことで、エリア全体の都市ガスの使用量が前年より 16%増加。

また同施設は増床建て替えのため照明その他の電気設備拡充でエリア全体の使用電力量が 5.7%増加したものの、同施設の屋根に太陽光発電設備を導入したためエリア全体の CO2 排出量は前年比▲4.7%。

床面積あたりの排出量は前年比▲10.7%。

< 本社 >

軽油使用車両の HV への移行に伴い、軽油使用量が 6.5kℓから 1.1 kℓまで減少、軽油の CO2 排出量が前年▲83%。

総使用電力量は新たな省エネ施策がなく前年とほぼ同量だったが、契約中の電力事業者の CO2 排出係数が下がったことで電力の CO2 排出量が▲8.9%。

本社全体で前年比▲21.6%。